

名証二部、東証JASDAQ

証券コード：2185

# CMC GROUP

株式会社シイエム・シイ

2020年9月期 通期連結決算説明

# 業績報告

## 業績分析

- 新型コロナウイルス感染拡大にともない、主要顧客における各種イベント案件の延期・中止、印刷物などの減少。
- 営業利益においては、原価低減、経費削減に努め、7/29業績予想比で増加。
- 当期純利益において、前期に減損したシミュラティオ社が当期に解散したことにより、法人税等合計額が減少。

単位:百万円

	2019年9月期	2020年9月期	業績予想比	前期比
売上高	19,251	<b>17,071</b>	+0.4%	▲11.3%
売上総利益	7,106	<b>5,998</b>		▲15.6%
販売管理費	4,859	<b>4,179</b>		▲14.0%
営業利益	2,246	<b>1,818</b>	+13.7%	▲19.1%
(営業利益率)	(11.7%)	<b>(10.7%)</b>		(▲1 ㊦)
経常利益	2,248	<b>1,827</b>	+10.8%	▲18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,314	<b>1,354</b>	+32.8%	+3.1%
EPS	188.68円	<b>193.27円</b>		+4.59円
ROE	9.7%	<b>9.2%</b>		▲0.5 ㊦

## 貸借対照表

単位:百万円

資産の部	2019年9月末	2020年9月末	差額
流動資産	13,131	<b>13,696</b>	<b>+564</b>
（内、現金及び預金）	8,832	<b>9,386</b>	<b>+553</b>
固定資産	5,665	<b>5,991</b>	<b>+325</b>
<b>資産合計</b>	18,797	<b>19,687</b>	<b>+890</b>
<b>負債及び純資産の部</b>			
流動負債	3,137	<b>2,618</b>	<b>▲518</b>
固定負債	1,442	<b>1,650</b>	<b>+207</b>
負債合計	4,580	<b>4,268</b>	<b>▲311</b>
株主資本	13,820	<b>14,920</b>	<b>+1,100</b>
その他	397	<b>498</b>	<b>+100</b>
純資産合計	14,217	<b>15,419</b>	<b>+1,201</b>
<b>負債純資産合計</b>	18,797	<b>19,687</b>	<b>+890</b>

## 増収・増益を予想

注力市場における製品知識や表現のナレッジを活かしたサービスの提供、新商材の拡販、

さらなるICT活用の高度化による経費・原価低減

単位:百万円

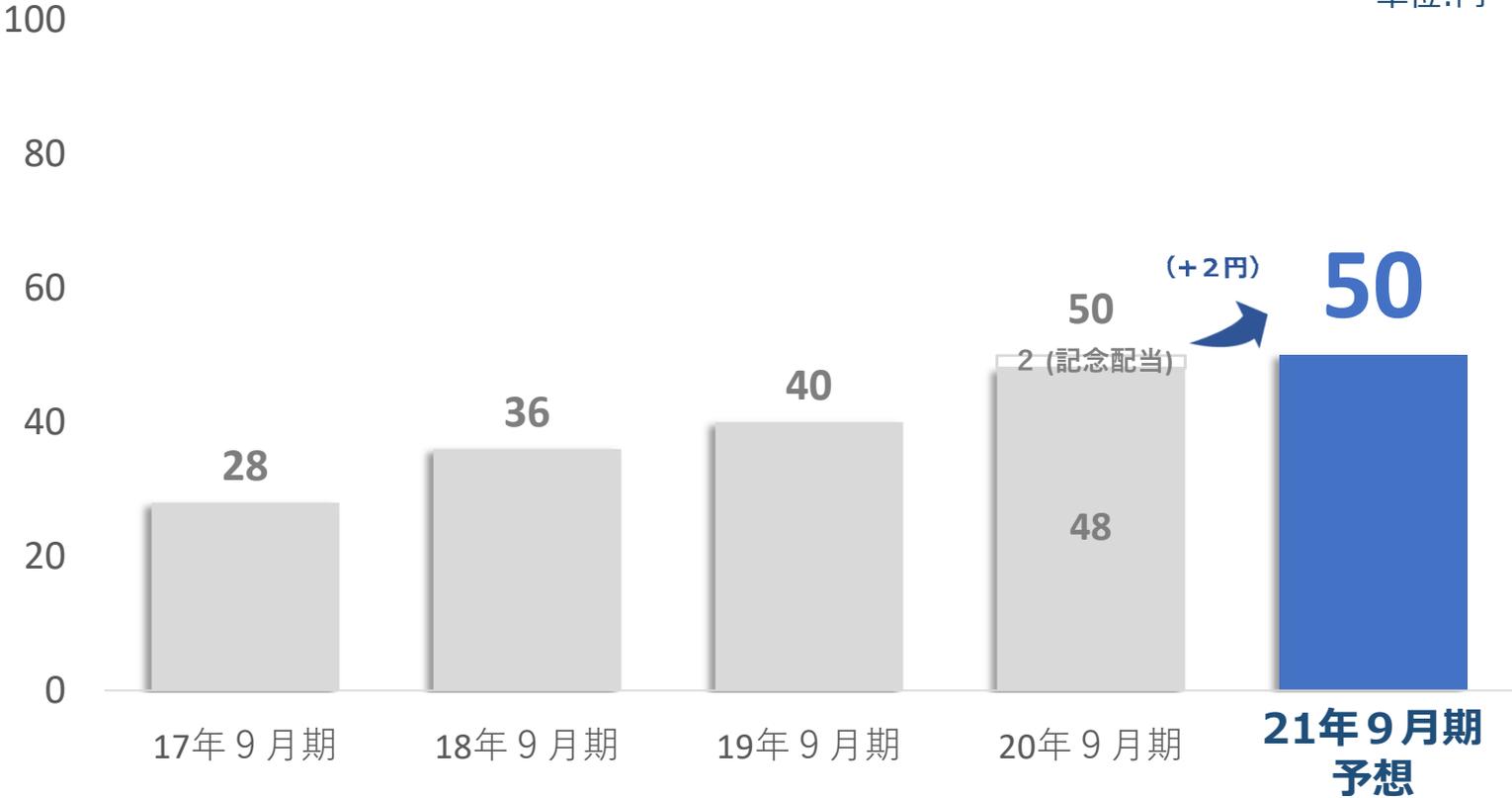
	2020年9月期	2021年9月期	前期比	要因
売上高	17,071	<b>20,189</b>	<b>+18.3%</b>	各注力市場における新商材の拡販
営業利益	1,818	<b>2,276</b>	<b>+25.2%</b>	先行投資を上回る、 大幅な経費・原価低減
(営業利益率)	(10.7%)	<b>(11.3%)</b>	<b>+0.6ポイント</b>	
経常利益	1,827	<b>2,320</b>	<b>+27.0%</b>	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,354	<b>1,590</b>	<b>+17.4%</b>	
EPS	193.27円	<b>228.88</b>	<b>+18.4%</b>	
ROE	9.2%	<b>10.8%</b>	<b>+1.6ポイント</b>	

# 4期連続の増配を予想

業績動向、財務体質、将来に向けた投資に必要な内部留保等を総合的に勘案し、  
**配当金額の継続的な増額**をめざしていく。

20年9月期の記念配当を一過性とせず、**実質増配**。

単位:円



# 成長戦略に向けた取り組み -資本政策-



# 成長戦略に向けた取り組み -資本政策-

## 『記念配当』と『自己株取得』で総還元性向の向上に寄与

 注力市場の拡大  
医療・医薬品、  
物流、ロボティクスなど

 モビリティ市場の  
拡大と深耕

 海外市場の  
拡大と深耕

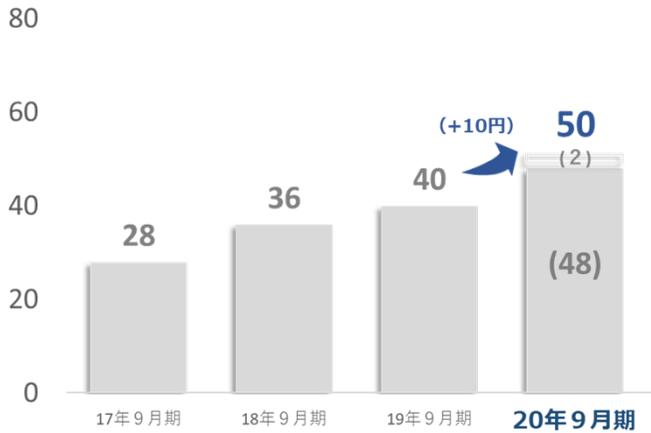
 戦略的M&Aの  
推進による  
市場拡大・  
商材強化

 ICT活用による  
生産性の  
飛躍的向上

 **継続的増配**

### 『記念配当』

名古屋証券取引所市場第二部への  
上場記念として、2020年9月期の期末配当を  
**1株あたり2円**の記念配当

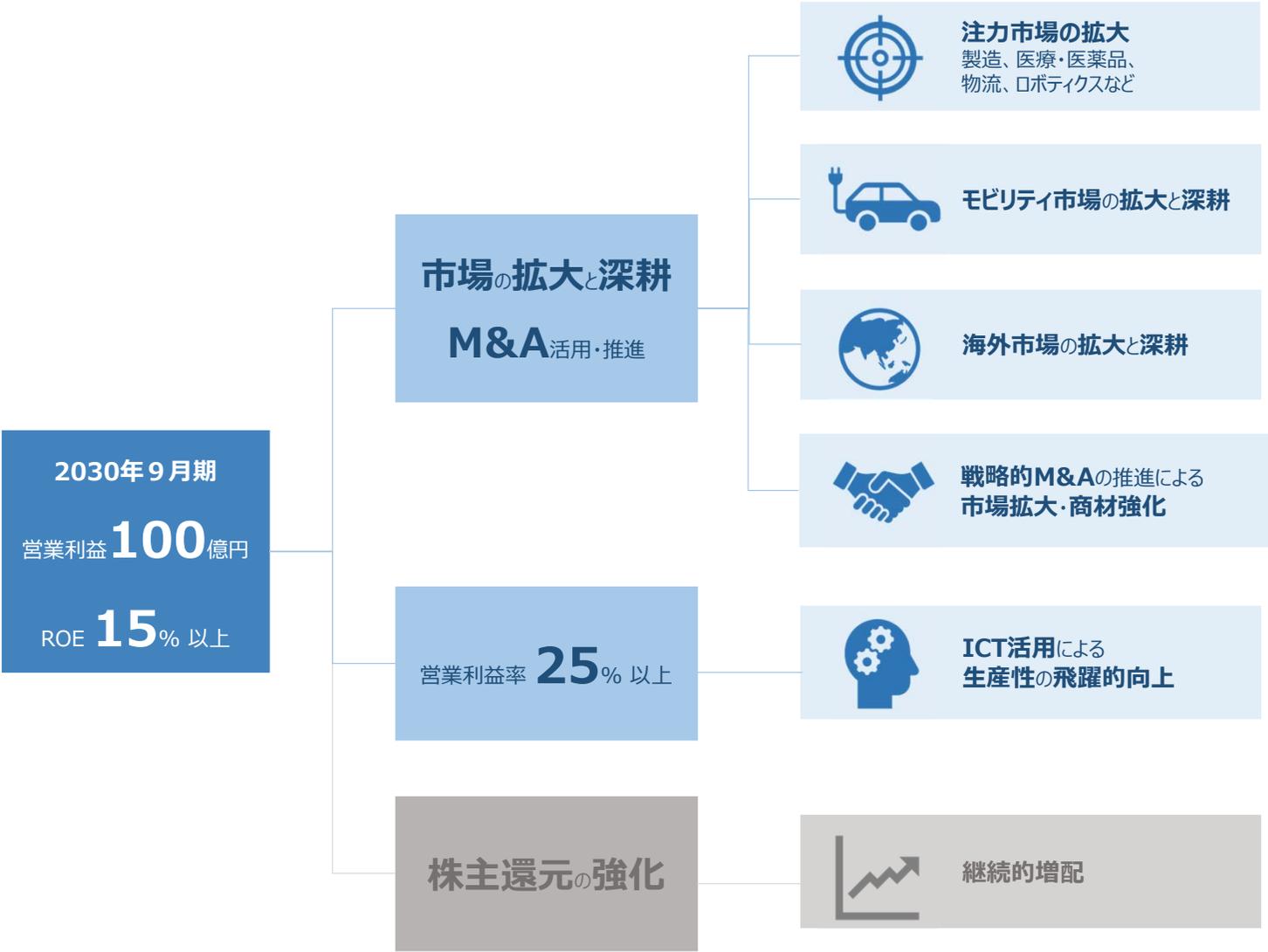


### 『自己株取得』

株主還元の充実と資本効率の向上を  
図るとともに、経営環境の変化に対応した  
機動的な資本政策を遂行するため

取得した株式の総数	150,200 株
株式の取得価額の総額	299,853,400 円
取得期間	2020年4月1日～ 2020年6月5日 (約定ベース)

# 成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



## 成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



## AIをはじめとしたICT技術を保有する 木村情報技術株式会社と業務資本提携



業務標準化ビジネスの強化、  
医療・医薬品市場へのさらなる展開を狙う。



新型コロナウイルスの影響にともない、  
オンライン商材の連携・拡大を推進中。



WEB講演会



AIサービス



ロボチャット



有人チャット

## 成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



注力市場の拡大  
製造、医療・医薬品、  
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の  
拡大と深耕



海外市場の  
拡大と深耕



戦略的M&Aの  
推進による  
市場拡大・  
商材強化



ICT活用による  
生産性の  
飛躍的向上



継続的増配

医療・医薬品の専門的な**学術知識**に、ICTを掛け合わせ、  
リモートワーク環境下に**最適化したコンテンツ企画**を深耕。



さらに、**専門医のターゲティング支援**や  
**医療を分かりやすく伝える患者向けのコンテンツ企画**を拡販。

## 成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-



注力市場の拡大  
医療・医薬品、  
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の  
拡大と深耕



海外市場の  
拡大と深耕



戦略的M&Aの  
推進による  
市場拡大・  
商材強化



ICT活用による  
生産性の飛躍的向上



継続的増配

**業務標準化の手法を基礎としたDX人材育成の場**

**「!Center名古屋」を設立 (※)**

※ R P Aテクノロジーズ株式会社 と 当社子会社 株式会社メインの共同設立

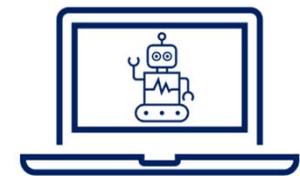
「働き方改革」に向け、

人からR P Aロボットへの代替による

業務の自動化・カイゼンを実現。

業務標準化のノウハウを活用し、

R P Aの効果<sup>を</sup>最大限発揮するための支援。



## 成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-

### 行動変容を加速すべく、組織基盤を強化

#### 業種横断型 戦略組織の新設



市場戦略をさらに前進させ、「行動変容」へ進めるため、業種横断型の戦略組織を新設。

#### ICT開発機能の最適配置



開発の機動性を向上するため、受託開発機能を各事業部門へ分散配置。また、ユーザーの「行動変容」を促す新商材の開発を加速するため、研究開発に特化した専門組織『DX戦略部』を新設。

#### 組織戦略・人財戦略の取り組み



- 役割成果に基づく評価と処遇を実現する新人事制度を施行。
- 経営のスピードアップを図るため、執行役員の役位を廃止。
- 社内業務の自動化・カイゼンを推進するRPA専門組織を新設。



注力市場の拡大  
製造、医療・医薬品、  
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の拡大と深耕



海外市場の拡大と深耕



戦略的M&Aの  
推進による  
市場拡大・  
商材強化



ICT活用による  
生産性の飛躍的向上



継続的増配

# ビジネスモデル

# Who we are



時代の変化に対応し、  
変わり続ける

約 **0** 個 創業時から続く  
商材の数



一流企業に鍛え上げられた  
品質と信頼性

約 **60** 年 大手自動車会社との  
取引年数



仲間づくりと  
グループ総力の結集

約 **5** 倍 グループ3社  
M&A前後の  
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ  
マニュアル業界最大手

約 **50** % 大手自動車会社における  
技術マニュアルの  
当社シェア



最尖端ICT技術の  
開発・活用

約 **25** % グループ全従業員  
ICT人財比率

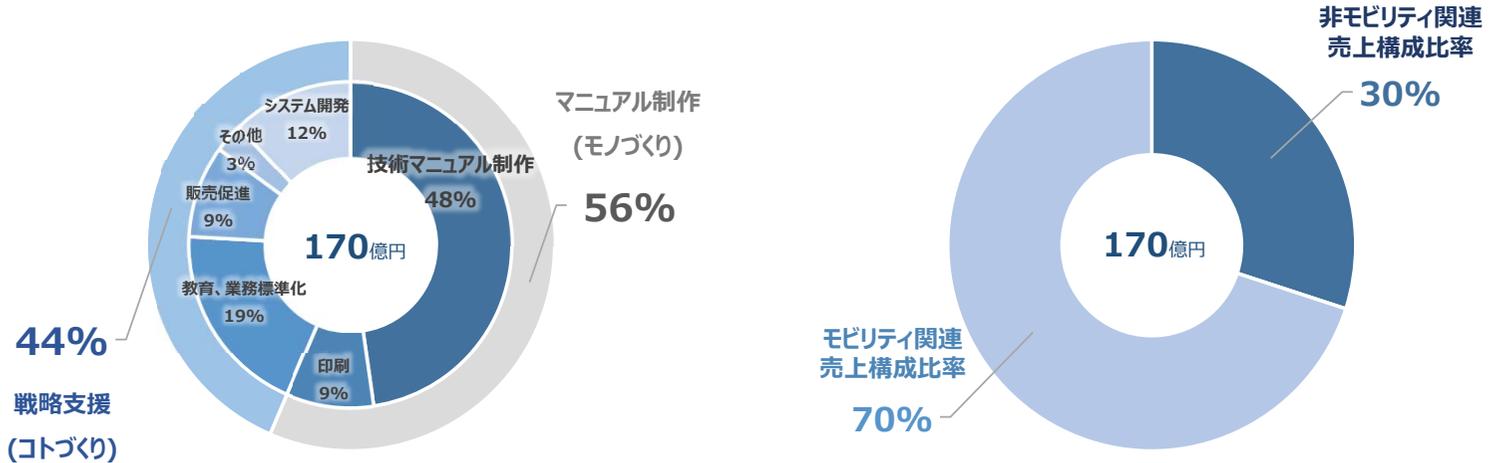


利益・配当の  
継続成長

**4** 期連続 直近期の  
増配継続

経営概況 (2020年9月期末時点)

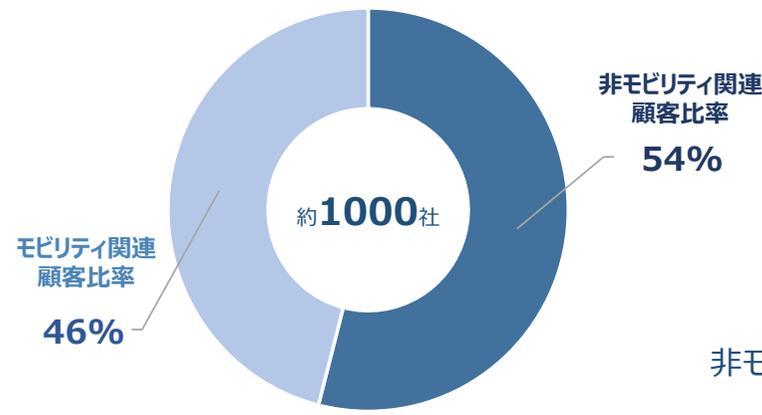
売上構成 |



マニュアル制作 (モノづくり) を基盤としつつ、  
戦略支援 (コトづくり) が全体の **44%**まで成長

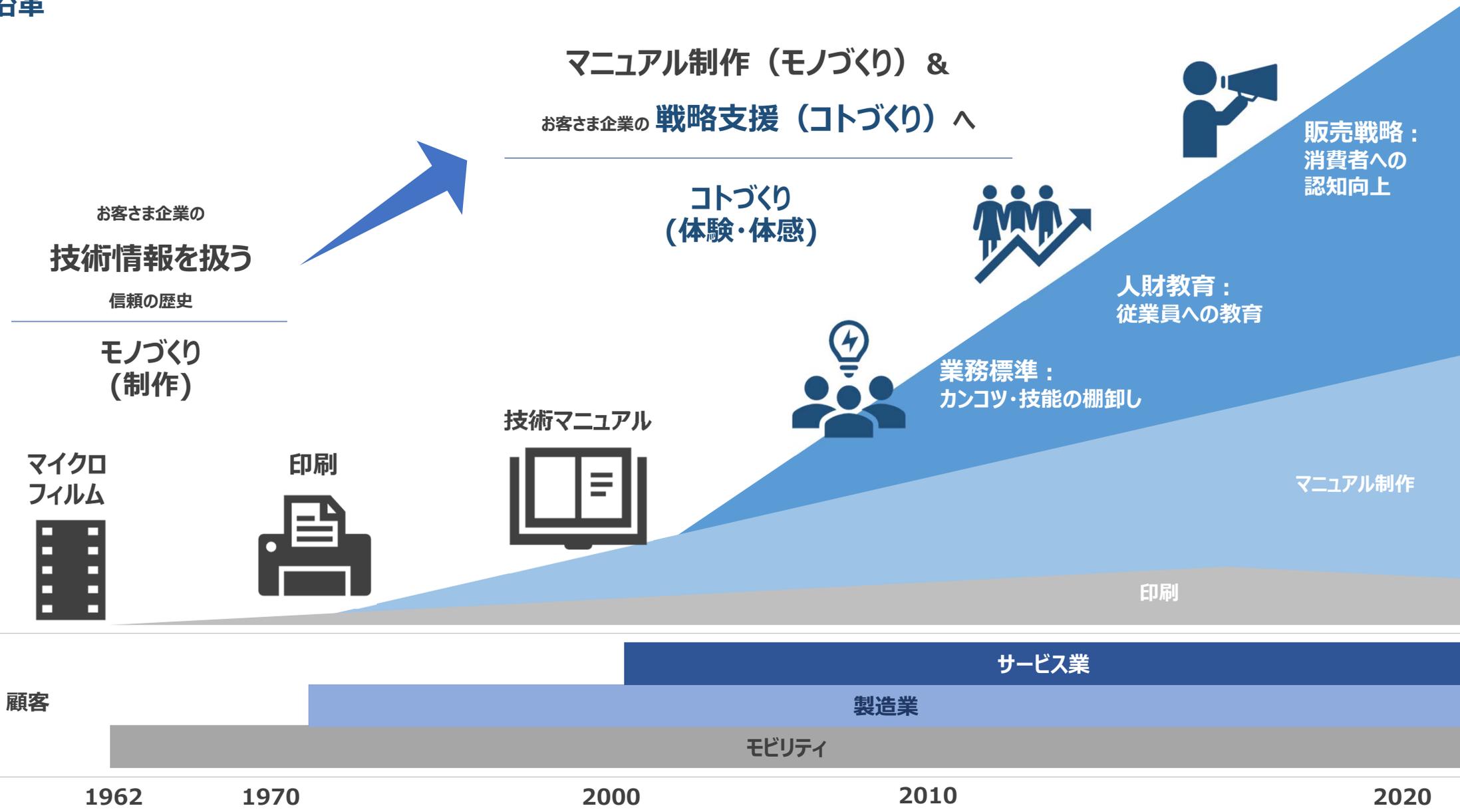
モビリティ関連を深耕しつつ、  
非モビリティ関連が**30%**まで拡大

顧客構成 |



顧客構成においても  
非モビリティ関連社数が**54%**と市場拡大中

# 沿革



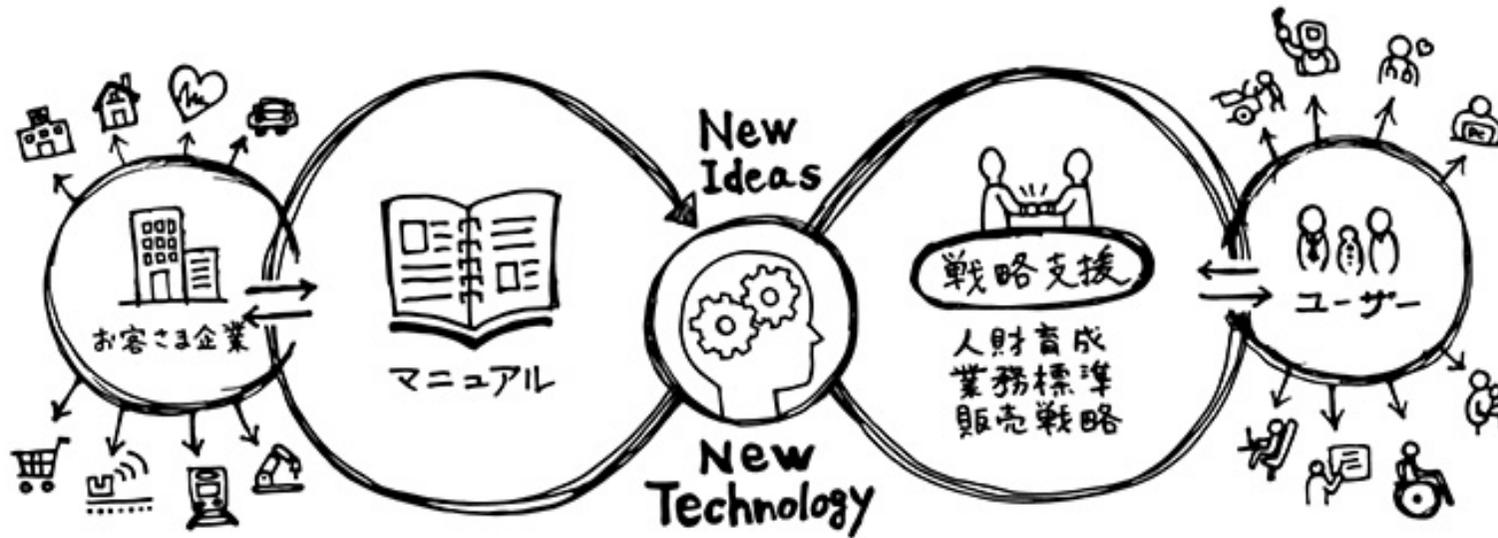
## ビジネスモデル戦略

「マニュアル制作」を通じて

お客さま企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて

ユーザーを深く理解する。



このサイクルを回し続けることで、

持続的な需要 と 高い参入障壁 が生まれ、

独自のビジネスエコシステムを構築。

# CMC GROUP

2021年9月期 第1四半期累計期間の決算発表は、  
2月12日（金）を予定しております。

## 參考資料

## 参考資料 経営指標

連結損益計算書	単位	18年9月期通期	19年9月期通期	20年9月期通期	21年9月期 予想(※1)
売上高	百万円	18,114	19,251	17,071	20,189
売上総利益	百万円	6,204	7,106	5,998	-
営業利益	百万円	2,001	2,246	1,818	2,276
経常利益	百万円	2,076	2,248	1,827	2,320
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,322	1,314	1,354	1,590
売上総利益率	%	34.2	36.9	35.1	-
営業利益率	%	11.0	11.7	10.7	11.3
経常利益率	%	11.5	11.7	10.7	11.5
当期純利益率(※)	%	7.3	6.8	7.9	7.9

※ 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標	単位	18年9月期通期	19年9月期通期	20年9月期通期	21年9月期 予想(※1)
BPS(1株当たり純資産額)	円	1,868.3	2,026.9	2,206.6	2,435.5
EPS(1株当たり当期純利益)	円	188.7	188.7	193.3	228.9
ROE	%	10.5	9.7	9.2	9.9
ROA	%	12.2	12.4	9.5	11.3
PER	倍	13.3	10.7	10.1	8.5
配当性向	%	19.1	21.2	25.9	21.8
従業員数	名	969	1,001	972	972

※1 2021年9月期の予想の数値については、損益計算書及び配当は21年9月期通期予想、それ以外は20年9月末実績とそれに基づく予想値をもとに算出しております。

## 参考資料 企業プロフィール

▶社名	株式会社 シイエム・シイ
▶事業	マーケティング活動支援／I C T戦略支援
▶設立	1962年5月
▶住所	名古屋市中区平和1-1-19
▶代表者	代表取締役社長 佐々 幸恭
▶資本金	6億5,761万円
▶従業員数	450名（単体）/972名（連結）
▶グループ会社・拠点	17社（国内7社、海外10社） 30拠点（国内15拠点、海外15拠点）

※2020年9月30現在

参考資料 海外拠点

## North America

### アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

## Europe

### ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

### オランダ



Maruboshi Europe B.V.

### フランス



Maruboshi France S.A.R.L.

## Asia

### 中国



広州国超森茂森信息科技有限公司  
広州市丸星資訊科技有限公司  
北京国超森茂森網絡科技有限公司

### 台湾



台湾丸星資訊科技股份有限公司

### タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.  
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

### シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国 15拠点

## 参考資料 将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先  
株式会社シイエム・シイ 経営企画部 IR担当 052-322-3386

IRサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>